

5/13
五・一三

保険証廃止法案撤回決議



座り込みで抗議する人たち(2月、国会前)

参院委で質疑 国会前座り込み

現行の健康保険証を廃止してマイナンバーカードと保険証を一体化することを含む「マイナンバーカード等改定案」をめぐら12日、参院特別委員会で質疑が始まりました。同日、市民や野党議員が国会前で座り込みを行ひ、抗議。地域医療の崩壊につながること、同改定案の撤回を訴えました。

同改定案が届かきから質疑に入るのを前に、約80人を利用した証明書のコンビニ交付で、別の住民票がせ」と国会に向けて声を上げました。マイナンバーカード制度反対連絡会や中央社会保障推進協議会、全国保険医団体連合会(保団連)などと並んで、個人情報がいつ悪用されるか分からぬ」と批判。「マイ

が共催しました。

日本共産党的倉林明子参院議員と立憲民主党の国会議員が参加しました。

既に知りせぬとともに、現行の保険証の廃止を許さない運動を広げていこう」と呼びかけました。

主査は、マイナンバーカードの利用に対応するオンライン資格確認用の機器の導入をめぐり、対応できない医療機関が閉院せざるを得なくなると指摘。閉院が過疎地などで起きれば、地域医療の崩壊につながると訴えました。

同連絡会の原英彦事務局長は、「マイナンバーカードを利用した証明書のコンビニ交付で、別の住民票が発行される問題が各地で相次いでいる」と述べ、「個人情報がいつ悪用されるか分からぬ」と批判。「マイ